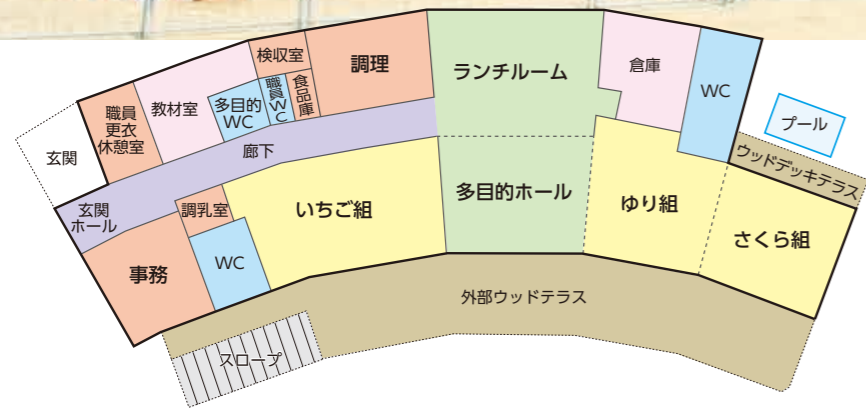




左) 新園舎の全景  
下) 初保育の日にお祝いに駆けつけたふねまる



## 上野保育園新園舎で保育がスタート



住 所：御船町大字上野1519番地2  
敷地面積：7804.01㎡  
構 造：木造平屋建  
床 面 積：490.39㎡  
総事業費：163,638,000円

### 木のぬくもりを感じる園舎へ

2月9日から新園舎での保育がスタートしました。園児たちは完成したばかりの園舎に最初は緊張していましたが、現在はすっかり慣れ、元気に園生活を送っています。

新園舎は県緑の産業再生プロジェクト促進事業補助金を活用して建築されており、国産の木材をふんだんに使用。ウッドデッキや南側の壁には吉無田町有林のヒノキが6㎡使用されており、木のぬくもりを感じさせる建物になっています。総事業費1億6360万円。

園舎はゆるいカーブを描いた扇形の形をしており、全室バリアフリー化。園庭にはウッドデッキが設けられ、開放的な空間を演出しています。園児の遊び場として、またイベント時にお弁当を食べるスペースとして、さまざまな用途で活用できます。宗心みどり園長は「無事に新しい園舎での保育を始めることができました。園児たちも新しい環境に慣れ、園生活を楽しくしているようです。前の園舎のように、地域の方々にも愛される園舎になるよう職員一同頑張りたいと思います」と話しました。



**45年間ありがとう**  
2月6日、上野保育園旧園舎でお別れ会が開かれました。園児たちは、今まで慣れ親しんだ園舎の壁などに触れ、「ありがとう」とこつと、感謝の気持ちを伝えました。  
旧園舎は、昭和44年4月1日に定員60人で開設。入所児童が一番多かった昭和57年には、定員120人が在園しました。昭和56年には、上野幼年消防クラブを結成。45年間で、約1131人が卒園しました。



1\_新しい教室、新しい机で給食を食べる園児たち 2・3\_新しい園庭で遊ぶ園児たち 4\_ウッドデッキの床や壁には、吉無田町有林のヒノキが使用されています



1\_45年間園児たちを見守った旧園舎とクスノキ 2・3\_「ありがとう」と旧園舎内に触る園児たち 4\_旧園舎で最後の記念撮影

### 新園舎にドキドキ

「新しい園舎に初めて来た時はドキドキしました。部屋や道具が新しくなって、きれいでうれしいです。今まで無かったブランコで遊べるようになって楽しいです。」



さくら組  
やましたりょうすけ 山下凌介くん(左)  
ほりたみお 堀田滯央ちゃん(右)

